





「まほろば徳・得講座(第一講)」は在学生14名、卒業生9名の参加で楽しく温かい講座になりました。   TOKU・TOKU

## まほろば 徳・得 講座 【アンケート】

第(1)講 令和4年7月13日(水)

☆受講してみて感じたこと・考えたこと・参考になったことなどを書いてください。

(これからの講座の内容などの参考にします)

### 受講生 A さんから

子どもにとってだけでなく、それを見守る保護者や地域の方々にとって、信頼や尊敬をされ、お手本になる先生になることが大切なのだという、中川先生の言葉が印象に残っています。子どもの心やつぶやきを見抜き、子どもの学びを深めて家に帰らせることが先生の役割の一つであることを知りました。

また、「どんな子に育ててほしいか」を考えて子どもを見ることが大切であるという、楠先生の言葉も印象的でした。活動を通して子どもの中にイメージさせることが子どもの

学びになり、先生の学びにもなるということが分かりました。本日はありがとうございました。たくさん学べて楽しかったです。

### 受講生 B さんから

今日は長年教師を続けてこられた講師の方々の貴重なお話を聞くことができ、光栄でした。教師を目指す立場として、心得や授業実践に少しでも触れることができたので、将来のイメージを広げることができました。特に、中川先生の「先生によって、子どもは変わる」という言葉が印象的でした。また、そのためには、子ども一人ひとりを見つめてその子に合った関わり方をするということが大切なのだ学ぶことができました。

楠先生の、楽しく学ぶという授業方針にもとても心を打たれました。勉強しているという感覚は子どもにとって重荷になると思うので、遊んでいるように学びを広げられるというのはとても素晴らしいと思ったからです。今日のご講義を参考にこれからの自分を考えていこうと思いました。

## 受講生Cさんから

今日はとびいりで参加させていただきました。急なお願いをしてしまいましたが、受け入れてくださってありがとうございました。

中川先生の貴重なお話を聞くことができ大変うれしかったです。私は大阪市内の小学校の教員ですが、初心を思い出して「もっと子どもたちと向き合おう」と強く思いました。今は頼りがいのある教員になれていないのですが、少しでも子どもたちや同僚の教職員の方々から頼られる教員になりたいと思います。

楠先生のお話では、改めて算数のおもしろさを感じました。実際に操作しながら、数に隠されたヒミツに気づく過程を体験することができました。算数は苦手意識があったのですが童心にかえって、とても楽しかったです。低学年を担当することが多いのですが、いただいた知恵を授業に活かしていきたいと思います。子どもたちが自然と抱く「なんで？」を探究するような子どもたちを育てる学級づくりを目指したいと強く思いました。貴重なお話や時間をありがとうございました。

2022年(令和4)7月13日(水)まほろば徳・得講座

第一講 受講風景

